

2022年6月2日

株式会社ティー・オー・ダブリュー

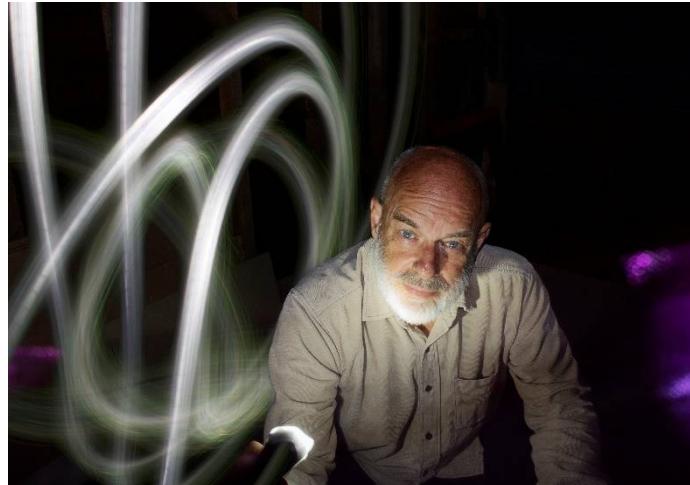
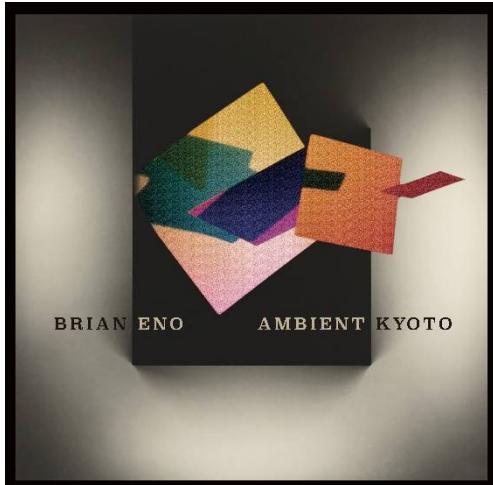
NEWS RELEASE

TOW主催によるブライアン・イーノの“音と光のインсталレーション”

『BRIAN ENO AMBIENT KYOTO』が京都で6月3日より開幕。

本展における企画・制作もプロデュース。

株式会社ティー・オー・ダブリュー（本社：東京都港区 代表取締役社長：村津憲一）は、この度、パーカス「新しい時代の体験を創る」の実現に向けて、ヴィジュアル・アーティストであり、アンビエント・ミュージックの創始者であるブライアン・イーノによる、音と光のインсталレーション展覧会『BRIAN ENO AMBIENT KYOTO』を主催し、さらに本展の企画・制作のプロデュースも手掛けました。



本展は、ヴィジュアル・アートに革命をもたらした英国出身のアーティスト、ブライアン・イーノによる音と光のインсталレーションを展開します。音と光がシンクロしながら途絶えることなく変化し続け、その空間のその時に、観客の誰もが違う体験をすることができる、参加型の空間芸術です。

【その空間のその時にしか体験できない、参加型展覧会】※写真は過去の展覧会のものです

興味深く聞くことも、ただ聞き流すことも、無視することもできるというリスナー主体の、あらゆる聞き方を受容する「アンビエント・ミュージック」。その創始者であるイーノは、展覧会においても、観客のあらゆる接し方を受容する空間を作り上げました。絶え間なく変化し続ける音と光がシンクロする空間において、観客は、いつきたのか、部屋のどこにいたかによって他の誰とも違う体験をすることができます。



【コロナ禍に行われる初の大規模な展覧会】

コロナ禍において、ブライアン・イーノによる世界で最初の大規模な展覧会となります。芸術家としての活動のみならず、環境問題など社会活動にも早くから取り組んできたイーノが、世界的文化都市、京都で、どのようなメッセージを発するのか、日本のみならず世界が注目。会場は、築 90 年の歴史ある建築物「京都中央信用金庫 旧厚生センター」を、建物丸ごとイーノのアートで彩ります。



本展紹介ページ（ <https://tow.co.jp/topics/topic-14371/> ）

<『BRIAN ENO AMBIENT KYOTO』概要>

■タイトル：BRIAN ENO AMBIENT KYOTO（ブライアン・イーノ・アンビエント・キョウト）

■会場：京都中央信用金庫 旧厚生センター

■住所：京都市下京区中居町七条通烏丸西入 113

■会期：2022 年 6 月 3 日（金）-8 月 21 日（日）

■開館時間：11:00 - 21:00 入場は閉館の 30 分前まで

■主催：AMBIENT KYOTO 実行委員会（TOW、京都新聞）

■企画・制作：TOW、Traffic

■協力：α-station FM KYOTO、京都 METRO、CCC アートラボ

■後援：京都府、京都市、ブリティッシュ・カウンシル、FM COCOLO

■機材協賛：Genelec Japan、Bose、Magnux、静科、SONOS

■特別協力：Beatink、京都中央信用金庫

【チケットはこちらから】

<https://www.e-tix.jp/ambientkyoto/>

株式会社テー・オー・ダブリューの概要

商 号	株式会社テー・オー・ダブリュー
所 在 地	東京都港区虎ノ門四丁目 3 番 13 号 ヒューリック神谷町ビル
代 表 者	代表取締役社長 村津憲一
資 本 金	9 億 4,899 万円（2021 年 6 月）

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社テー・オー・ダブリュー 管理本部：舛森・鶴殿

電話：03-5777-1888 MAIL：tow_info@tow.co.jp